

イヤホンのオートマティックチューニングの開発について； 2016年8月

コンシューマから見ての、イヤホンの音質への関心には、際限がありません。市場価格も様々、最も安価なものは100円、高価なものでは、近年は2万円クラスのものも売れているそうです。

ところが、イヤホンの場合は、信号処理によって、かなりの範囲で音質の修正が可能です。

可能ではありますが、イヤホンそのものが持つ固有の性質（癖） や 楽曲が持つ特有の音質 を一緒にして、イコライザを使って、リスナーがリスナーの好みに合わせることは、簡単ではありません。

オートマティックチューニングは、あらかじめ決めておいた特定の標準特性に合わせるべく、再生装置の特性も含めたイヤホンの再生特性をお手許のイヤホンを使って 簡易な方法で 補正しようとするものです。

段階	年	経緯
第1段階	2013	プレーヤアプリ UBiO に 市場にある代表的なイヤホン固有の補正特性を組み込むが、多くのユーザから 補正特性を組み込むイヤホンの種類の追加の要望が毎日のように入る。
第2段階	2014	イヤホンの特性をイヤホンで測定する、という方法にトライ。測定できることを確認
第3段階	2016	オートマティックチューニングの機能を組み込み、実用性を確認。引き続き性能改善中